



第26回 日本脊椎・脊髄神経手術手技学会学術集会

# ランチョンセミナー1 (LS1)

## Suture anchorsを用いた頸椎椎弓形成術 頸椎症および 脊髄腫瘍における経験

**会期** 2019年9月6日(金)  
12:00~13:00

**会場** 第一会場 大阪国際会議場10F  
会議室1003  
〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島5丁目3-51

### 座長

**西良 浩一** 先生  
徳島大学医学部 整形外科 教授

### 演者

**飛騨 一利** 先生  
札幌麻生脳神経外科病院 院長

下記いずれか1単位の取得が可能です(受講料 1講演1,000円)

- 日本整形外科学会 教育研修講演単位 専門医資格継続単位(N)  
必須分野:[7] 脊椎・脊髄疾患
- 日本整形外科学会 教育研修講演単位 脊椎脊髄病単位(SS)

※会場に昼食を用意しておりますが、数に限りがありますので予めご了承ください。



## Suture anchorsを用いた頸椎椎弓形成術:頸椎症および脊髄腫瘍における経験

### 【 抄 録 】

頸椎椎弓形成術は頸椎症、頸椎後縦靭帯骨化症などにたいする外科治療として我が国、特に整形外科領域において発展してきた手術手技であるが、手術方法は片開き、両開きに大別され、さらに様々なvariationが報告されてきた。

その中で椎弓を両開きした後にLAMIFIXで椎弓を外側塊にスクリュー+ポリエステル糸で固定するSuture anchor法は簡便、安全で優れた手術方法であり、頸椎変性疾患のみならず、脊髄腫瘍、脊髄血管障害などにおいても、術後のartifactが少なく、椎弓の落ち込みの心配が無用なことから手術症例に応じて用いている。

それらの症例とともに本手術方法を供覧する予定である。